

平成 30(2018)年度事業報告書

自 平成 30(2018)年 4月 1日
至 平成 31(2019)年 3月 31日

【平成 30(2018)年度の重点事項】

- ① JAS 制度等を巡る様々な動向について、農林水産省他関係省庁の指導の下、関係団体と連携を図りながら、制度運用の適正化に努めた。
- ② 関係団体の協力を得て、下記の諸事業の実施を通じ、JAS 制度等の普及啓発等に努めた。

【諸事業の実施】

1. JAS 普及啓発事業

(1) 広報誌の発行

広報誌「JAS 情報」については、平成 30(2018)年 6 月から新コーナーとして林産関係の情報発信として「おどろ木 桃ノ木 山椒の木」及び有機関係として「どんとこい有機」を立ち上げた。また、平成 31(2019)年 1 月よりタイトル名を「JAS と食品表示」に変更し、JAS 制度を中心とする内容の他に表示に関する情報提供の充実に努めながら、毎月 1 回発行し、JAS 関係団体・事業者、関係行政機関や全国の都道府県、消費者団体等に配布した。



(2) メールマガジン配信の実施

会員を対象として、JAS 制度や講習会の開催等に関する有益な最新情報について、メールマガジン形式により、220 号から 229 号にわたって計 10 回配信した。

(3) 媒体広告の掲載

消費者団体の広報誌に、JAS 制度に関する広告を掲載した。

(4) イベントへの出席

イベント概要	当日の様子
<p>第13回食育推進全国大会inおおいた 期日：平成30(2018)年6月23日～24日 会場：J:COMホルトホール大分及び JR大分駅周辺 (大分県大分市) 主催：農林水産省、大分市、第13 回食育推進全国大会大分県実行委 員会</p> 	<p>関係団体・企業の協力のもと、JASマーク品・ポスター・パネルの展示により、JAS制度の普及啓発を行った。来場者には、「シールラリー」や「さかなつりゲーム」を設置し、ゲームに参加した子供達には景品として、JAS品（植物性たん白や果実飲料、カップめん等）を配布し、ブース内を見学された消費者には、JAS品を通じて大いに興味を示してもらった。</p> <p>(来場者数：2日間で延べ33,500人)</p> 

2. JAS 講習事業等

(1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品の JAS 認証申請製造業者及び認証製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を、次表のとおり実施した。

開催日 (2日間)	場 所	受講者数	内 容
【第1回】 平成30(2018)年 5月15～16日	石垣記念 ホール (東京)	151名	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 制度について ・ 食品の表示について ・ 品質管理概論
【第2回】 平成30(2018)年 9月11～12日		152名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト 「JAS 規格制度と食品の表示」 ・ 食品の安全性

【第3回】 平成 31(2019)年 1月 22～23日		168名	<ul style="list-style-type: none"> ・食品工場における衛生管理 ・品質管理活動の実際
------------------------------------	--	------	---

(2) 有機関係 JAS 講習会の開催

有機加工食品の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者を対象とする JAS 講習会を、次のとおり実施した。

開催日	場 所	受講者数	内 容
平成 30(2018)年 11月 13日	製粉会館 (東京)	56名	<ul style="list-style-type: none"> ・総論 <ul style="list-style-type: none"> ①JAS 法及び有機食品の検査認証制度 ②有機加工食品の日本農林規格及び認証の技術的基準 ・各論（「①②」と「③」のコース分け実施） <ul style="list-style-type: none"> ①生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法 ②小分けの方法及び格付の表示の方法 ③輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法

(3) 特別セミナー等の開催

ア. 情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。

開催日	場 所	参加者数	内 容
平成 30(2018)年 9月 4日	石垣記念 ホール (東京)	105名	<ul style="list-style-type: none"> ・「HACCP 制度化と今後の展開について」 講師：道野 英司 氏 厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課長 ・「衛生管理（HACCP）に対する製造現場の取り組みについて」 講師：島崎 光臣 氏 アース環境サービス株式会社 学術部 学術担当（課長）

平成 31(2019)年 2月13日	エッサム 神田ホール 2号館 (東京)	110名	<ul style="list-style-type: none"> ・「家畜伝染病の世界の状況と日本の対策」 講師：伊藤 和夫氏 農林水産省 動物検疫所 所長 ・「日本と世界における添加物の表示」 講師：脊黒 勝也 氏 一般社団法人日本食品添加物協会 常務理事 ・「食品表示をめぐる最近の状況」 講師：赤崎 暢彦 氏 消費者庁 食品表示企画課 課長
【林産関係】 平成 31(2019)年 2月25日	製粉会館 (東京)	31名	<ul style="list-style-type: none"> ・「木材利用促進の現状と今後の展開について」 講師：長野 麻子 氏 林野庁 林政部 木材利用課 課長 ・「木質材料への耐火性能付与の研究紹介」 ～建築基準法の木材建築物に係る制限の合理化への科学的根拠～ 講師：原田 寿郎 氏 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター ・「林産 JAS 新規格の認証の技術的基準の解説」 講師：古藤 信義 氏 農林水産省 食料産業局 食品製造課 基準認証室 課長補佐

※所属・役職名は、開催当時のもの

イ. 時宜に適した食品表示セミナーを年4回開催した。

3. 消費者庁委託事業

(1) 冠表示に係る原料原産地表示ガイドライン検討会（平成 30(2018)年 4月～12月）

「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間とりまとめ」において、いわゆる「冠表示」は、義務表示ではなく、国がガイドライン等を示すことにより普及していくことが適当であるとし、冠表示に係る原料原産地表示ガイドラインを策定するため検討会を計4回開催し最終案を消費者庁に提出した。

(2) 新たな加工食品の原料原産地表示理解度調査（平成 31(2019)年 1月～3月）

新たな加工食品の原料原産地表示に対する食品関連事業者の認知度及び理解度並びに対応状況を調査するための設問を作成し、食品関連事業者に対し調査を実施した。

4. J A S 規格集等作成配布事業

「ハンディ版 食品表示基準」及び「JAS 制度の手引」を改訂した。

5. 諸会議の開催

(1) 総会

当協会定款に基づき、次表のとおり総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
(定例) 平成 30(2018)年 6 月 19 日	ホテルモントレ 銀座 (東京)	・平成 29 年度事業報告及び収支決算に関する件 ・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件 ・理事の補選に関する件

(2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
【第 1 回】 平成 30(2018)年 5 月 10 日	製粉会館 (東京)	・平成 29 年度事業報告及び収支決算に関する件 ・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件 ・理事の補選に関する件 ・平成 30 年度通常総会の開催に関する件
【第 2 回】 平成 31(2019)年 3 月 15 日		・平成 31 年度事業報告及び収支予算に関する件 ・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件

(3) 連絡協議会

当協会の団体会員の出席を得て、次表のとおり連絡協議会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
【第 1 回】 平成 30(2018)年 4 月 18 日	製粉会館 (東京)	・ JAS 協会における今年度の事業計画等について ・ 新しい JAS 制度について ・ 登録認証機関向けについて ① JAS 法と登録認証機関にかかわる対応について ② 登録認証機関に対して FAMIC が行う調査の変更点について

<p>【林産関係】 平成 30(2018)年 7 月 20 日</p>	<p>製粉会館 (東京)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林産関係工場におけるロボット活用の今後の可能性について 講演者：一般社団法人 日本ロボット工業会 技術部長 三浦 敏道 氏 ・ 最近の JAS 規格の制定及び改正内容について <ul style="list-style-type: none"> ① 接着重ね材の日本農林規格 ② 接着合せ材の日本農林規格 ③ 製材の日本農林規格（一部改正） ④ 直交集成板の日本農林規格（一部改正） <p>説明者：農林水産省 食料産業局 食品製造課 基準認証室 林産 JAS 担当 課長補佐 古藤 信義 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林環境税（仮称）と森林環境譲与税（仮称）の創設と木材利用について 説明者：農林水産省 林野庁 林政部 木材利用課 課長補佐 佐藤 智一 氏
<p>【第 2 回】 平成 30(2018)年 9 月 20 日</p>	<p>製粉会館 (東京)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 法改正を受けての認証機関業務について ・ FAMIC が実施する工場等への調査について ・ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①加工食品の冠表示に係る原料原産地表示ガイドライン検討状況について ②遺伝子組換え表示の予想される今後のスケジュール等について